

# さかいまち 議会だより

No. 182

平成30年2月1日発行

編集発行・茨城県境町議会  
広報編集委員会  
〒306-0495 境町391-1  
TEL. 0280-81-1316  
FAX. 0280-87-5873  
ホームページアドレス  
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>

## 成人おめでとう



平成30年成人式典 301名の方が成人されました

### 目次

議長 新春のあいさつ…………… P 2

平成29年第4回定例会

定例会審議結果…………… P 3～4

一般質問…………… P 4～7

平成29年第4回臨時会…………… P 7

議会活動…………… P 8

# 新春のあいさつ

議長

倉持 功



輝かしい平成30年の新春を迎え、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、境町議会に対し、ご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年7月の任期満了に伴う改選から、議員定数を12名に削減し、議会基本条例の趣旨にそって新たな境町議会がスタート致しました。

さて、昨年2月には、茨城県内における圏央道が全線開通し、境町民だけではなく、茨城県民の利便性、また茨城県の可能性が大きく広がりました。

町では、圏央道を最大限有

効活用し、流通や地域経済発展の促進、雇用確保のためインターチェンジ周辺開発を着実に進めております。

また、文化村のいこいの広場のリノベーションや、昨年9月からはじまった、境小学校をモデル校としての、フィリピン人英語講師によるスーパードローバルスクールモデル事業など、境町では様々な取組を行っています。

今年度3月には役場西側の駐車場を利用し、利根川の決壊や集中豪雨災害時に緊急避難場所として200人を収容できる水害避難水タワーが完成する予定です。

私たち議会は、未来に展望の持てる、安心・安全な住み

よい町づくりを目標に、町執行部と共に境町の両輪となり、町民から選ばれた住民の代表であるという責任と自覚を持ち、常に住民目線で町を見つめ、町民の皆様の負託に応えるべく身近で、開かれた議会を目指して、本年も関係各位との連携を深め、邁進していく所存であります。

結びに、境町の発展と町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



# 平成29年 第4回定例会

12月4日～8日（5日間）

全議案・原案可決

## 平成29年 第4回定例会審議結果

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度境町一般会計補正予算(第7号))	平成29年12月4日	即日原案承認
議案第48号	境町英語教育基金条例の制定について	平成29年12月8日	原案可決
議案第49号	平成29年度境町一般会計補正予算(第8号)について	平成29年12月8日	原案可決
議案第50号	平成29年度境町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	平成29年12月8日	原案可決
議案第51号	平成29年度境町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)について	平成29年12月8日	原案可決
議案第52号	平成29年度境町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	平成29年12月8日	原案可決
議案第53号	町道路線の廃止について	平成29年12月8日	原案可決

### 承認第9号 平成29年度境町一般会計補正予算（専決処分の承認）

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計	114億8,583万5,000円	1億3,020万円	116億1,603万5,000円

### 議案第49号～ 平成29年度境町各種会計補正予算

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計	116億1,603万5,000円	17億2,573万7,000円	133億4,177万2,000円	
特別会計	国民健康保険事業	37億6,993万7,000円	196万4,000円	37億7,190万1,000円
	後期高齢者医療事業	4億2,257万2,000円	983万円	4億3,240万2,000円
	介護保険事業	19億714万8,000円	87万3,000円	19億802万1,000円



## 条例の制定

○境町英語教育基金条例の制定について

(提案理由)

小学校及び中学校における先進的な英語教育によりグローバル社会で活躍できる人材を育成するための事業を安定的かつ継続的に運営するため、英語教育基金を設置するもの。



スーパーグローバルスクール事業 境小学校

## その他の議案

○町道路線の廃止について

(提案理由)

境町大字大步地内において、当該路線が一般交通の用に供する必要がなくなつたことから、町道路線を廃止するもの。



廃止される町道の現地確認 総務建設農政常任委員会

# 一般質問

### 1番 櫻井 実議員

防災・減災対策について  
オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の誘致について

### 2番 田山 文雄議員

英語教育の取り組みについて  
防犯対策の取り組みについて

### 3番 渡邊 昇議員

消防車について

水害対策について  
農業問題について

### 4番 鈴木 英明議員

公共交通網の整備の取り組みについて  
道路の維持管理について

### 5番 相良 昌宏議員

農業振興について

5人の議員が登壇しました

議席5番

櫻井 実 議員



## 防災・減災対策について

**Q** 町外の広域避難所である総和工業高校と坂東総合高校への収容人員は、どのように見積もっているか。

**A** 国の基準である2平方メートルを1人に換算して両校合わせて6,000人が可能と見積もっている。また、東京大学の片田先生を委員長に住民アンケートに基づいて高層階への垂直避難など様々なシミュレーションを重ね地域ごとの避難者数や避難場所を検討している。  
(総務部長)

**Q** 今年度、防災士の資格取得者に対して受験料等を補助したが、資格取得状況及び今後の防災士普及についてどのように取り組んで行くのか。

**A** 資格取得補助金制度により、

9名が受講されている。防災士資格者普及については、地域防災の要である消防団各分団から少なくとも1名程度取得していただき、地域防災力の向上に努めたい。

(総務部長)



### 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致について

**Q** ホストタウンとしての誘致活動の現況は、どのようになっているか。

**A** アルゼンチン共和国との事前キャンプ誘致事業計画が認定され、内閣官房からホストタウンとして登録された。これを受け、スペイン語などのパンフレットを作成し、国際交流児童アルゼンチン共和国派遣に合わせて議員2名及び教育長が同国のオリンピック副委員長やスポーツ教育局長を訪問し町長の親書を渡し、当町への視察を要望した。来年2～3月に関係者を

招へいし事前キャンプに向け、基本合意書の締結を予定している。競技種目については、バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、テニス、柔道などであり、決まれば、オリンピック競技仕様に整備する。

(秘書公室長)

**Q** 誘致に向けて、地元の食材のPRを含めてGAP（農業生産工程管理）を推進すべきと思うが、どのように考えているのか。

**A** 政府は、世界から訪日外国人旅行者に日本の食材や食文化の魅力を発信する絶好のチャンスと捉え、高品質で安全な国産食材の提供に向けて取り組んでいる。認証取得の要件は厳しく、当町取得者はない。今後、各県での独自のGAPに準拠した認証制度を創設していく予定になっていることから関係機関と連携して取得を推進していく。

(建設農政部長)



### 議席10番

田山 文雄 議員



### 英語教育の取り組みについて

**Q** 今年度は、境小学校をモデル校として実施され、来年度には全小中学校に実施される予定になっているが、課題や評価、実施予定の内容についてまた、町民を対象として英会話講座の実施も検討されていると思うが、開始時期や内容について。

**A** 課題として、時間の確保が挙げられるが、朝の読書会や給食の時間を活用し、全児童生徒が毎日45分以上親しみやすく英語にふれる環境づくりをすすめている。平成30年度においては、20名程度のフィリピン人講師を町内全小中学校に配置して、グローバル社会で活躍できる人材の育成に努めていきたい。町民を対象とした英会話講座については、全小中学校に配置して、課題を洗い出したのちに

前向きに進めていきたい。

(教育次長)

**Q** 当町も防犯灯や防犯カメラの設置などが数多く行われているが、今後の設置計画について。

**A** 防犯灯については、1736灯をLED化にして、更に437灯を設置している。防犯カメラも当初5ヶ所から現在46ヶ所となっており、今後100ヶ所を予定している。行政区の要望や危険箇所の洗い出しを行い順次設置していきたい。

(総務部長)





議席7番

渡邊

昇

議員



### 消防車について

**Q** 来年度消防自動車の買替の予定はあるのか伺う。

**A** 8車両中、特に第1分団、第2分団への配備車両は20年が経過しており計画的な買替が必要であると考えているが、運転免許制度が改正となり新入団員が運転できなくなる問題があることから、消防団と協議を行い要望等が整い次第、検討して行きたい。

(総務部長)



### 水害対策について

**Q** 利根川の堤防が決壊した場合に避難する二ヶ所の高校に静地区の割りあて等の方向性について伺う。

**A** 総和工業高校への避難が最も理想的であると考えているが、調査委員会等でさらに検討を重ねていくと共に、町が要望している河川防災ステーションの建設も予定されていることから、静地区の避難所として適していると思えますので、今後地域に即した避難計画を策定して行きたい。

(総務部長)

### 農業問題について

**Q** 来年度からの米作りの政策について町のあり方を伺う。

**A** 当町は、従来より農業者から個別に提出の営農計画書に、「生産数量目標に相当する数値」として記載をし、目標数量を周知することで、過剰作付を回避したいと考えている。

米の価格下落が危惧される来年以降につきましても、付加価値の高い米の生産や新しい市場の拡大に取り組み、農業経営を支援してまいりたいと考えている。

(建設農政部長)

**Q** 所得補償制度に代わる、小規

模農家に対する支援策はあるのか伺う。

**A** 30年産米より廃止されることになり、現状では、これに代わる情報はない。(建設農政部長)

議席1番

鈴木

英明

議員



### 公共交通網の整備の取り組みについて

**Q** 運行開始した高速バスの成田空港線の利用状況について。

**A** 公共交通網の充実に向け3年前から高速バスターミナルの誘致活動を進めてきた。成田空港行きは7便、境町行きは9便、毎日運行している。11月の1ヶ月間の利用者は成田空港行き206人、境町行き146人と利用状況は順調である。

(秘書公室長)

**Q** 境古河バスターミナルから将来的に都心への高速バスの運行に対する町の取り組みについて。

**A** 都心への高速バス路線誘致については、関東自動車株式会社では成田空港線の利用状況などを踏まえた中で検討するとの事である。今後も境古河バスターミナルを拠点とした都心への高速バス誘致に積極的に取り組んでいく。

(秘書公室長)

### 道路の管理維持について

**Q** 下小橋交差点から宮本町交差点国道354号線における大型車両通行時における振動対策について。

**A** 国道は、県境工事事務所が管轄で維持管理上の補修工事は県が施工することになっている。補修工事は対策工法や優先順位を決め町と協議しながら補修工事を実施していく。

町としては、必要な予算の確保の働きかけと地域の方の思いを県の方へ届けたいと考えている。

(建設農政部長)



議席3番

相良 昌宏 議員



農業振興について

**Q** 農業新時代の次世代型人材育成支援事業について。

**A** 境町は、本年度より株式会社舞台ファームと連携して、農業の活性化のために、担い手の育成や次世代型の農業を目指して、6月には、舞台ファーム社長の針生信夫氏による「日本を取り巻く農業ビジネスの現状と課題」と題し、今後の農業経営の方向性について、11月には、日本一の米の匠である遠藤五一氏より「美味しい米の作り方」の2回講演を行った。また、9月には実践講座として、「商品力を強化するには、マーケティング力を高める」と題し、伊藤啓一氏による講演も実施し、7月・8月には舞台ファームの関連施設である精米施設、水耕栽培施設の視察研修を行い、11月には、ドローンの農業活用について、実践を交えながら講座を実施してきた。

今後、何回かの講座の実施を行い、次世代型の人材の育成を目指して行く。(建設農政部長)

**Q** 農業サポーター支援事業について。

**A** 農家の高齢化、担い手不足の解消は急務であることから、農業サポーター制度は重要であると、考え、舞台ファームと連携し制度の構築に向け取り組んでいる。今後アンケート結果などを用い、課題等を洗い出し導入に向け調査研究を進めて行く。(建設農政部長)

(建設農政部長)

**Q** 農業ドローン支援事業について。

**A** ドローンの農業活用が、農作物の生育診断や病害虫防除などの圃場管理に有効なことから、11月にドローン講座を開催した。今後2月中旬に開催されるドローンスクールについても、舞台ファーム関連の会社であり、舞台ファームと連携した中で割安で出来ることである。農業者の方の負担を軽減できればと、補正予算を計上した。(農業政策課長)

(農業政策課長)



ドローン講座

議会を傍聴してみませんか !(^ ^)!

次回 平成30年第1回定例会は3月の予定です。

(手続きは・住所と名前を書くだけです)  
問合せ；議会事務局 81-1316 (直通)

第4回臨時会 平成29年12月25日開会

議案第54号 平成29年度境町一般会計補正予算

会計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計	133億4,177万2,000円	5,000万円	133億9,177万2,000円

議案第55号 工事請負契約の締結について 道の駅さかいりノベーション工事 (六次産業施設)

平成29年 第4回臨時会議決結果

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第54号	平成29年度境町一般会計補正予算(第9号)について	平成29年12月25日	即日原案可決
議案第55号	工事請負契約の締結について	平成29年12月25日	即日原案可決

## 国際交流児童アルゼンチン共和国派遣事業・東京オリパラ選手団事前キャンプ誘致に向けた派遣事業

境町では平成28年度より、外国の文化や生活習慣を肌で体感しグローバルな感覚を学ぶ事業として、かねてから境町と交流のあるアルゼンチン共和国に児童を派遣し親交を深めております。

2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、境町はアルゼンチン共和国のホストタウンとして国からの認定を受けていることから、境町議会を代表し斉藤議員、須藤議員の2名が、去る11月15日から25日に行われた第2回国際交流児童アルゼンチン共和国派遣事業に同行し、オリパラ選手団の事前キャンプ誘致活動を行ってまいりました。

要請訪問先は、アルゼンチン共和国オリリンピック委員会並びにスポーツ庁であり、11月21日にはオリリンピック委員会副委員長アリシ

アマツソーニ氏と面会し、23日にはオリリンピック委員会事務局長マリオモツチャ氏とも対談することができました。オリリンピック委員会では、境町立長田小学校において毎年アルゼンチン共和国駐日大使を招待し開催されている「アルゼンチンの日の集い」や、昨年2月のブエノスアイレス日垂学院による長田小学校訪問など、長年にわたり続いてきた境町とアルゼンチン共和国との交流の歴史を説明いたしました。そして今回の訪問では、12名の小学生がブエノスアイレスにおいて日垂学院やハボン小学校を訪問し、より交流を深め良好な関係を構築していることなど境町を大いにアピールして参りました。

その中で、スペイン語による境町PR動画の放映、また境町のパンフレットを配布し、圏央道を利用した交通の利便性や施設の内容を説明することにより、オリパラ選手団の事前キャンプ受入に対する思いを伝えてまいりました。

スポーツ庁ホセ・ガルシア・マニョン スポーツ教育局長との対話の中で、具体的にどんな種目の選手団を誘致可能であるか、施設等を見ていただきながら協議を進めることの必要性について説明を

行い、アルゼンチン共和国オリリンピック委員会による境町訪問を願う境町長からの親書を手渡ししてまいりました。

オリリンピック委員会副委員長、事務局長、スポーツ教育局長には非常に高い関心を持っていただき、今年の2月または3月にはオリリンピック委員会で来町するとの話をいただくことができました。

我々議会も、東京オリンピック・パラリンピックに向け基本合意が締結できますよう尚一層努力してまいります。

今回のアルゼンチン共和国派遣事業には、町内各小学校の児童12名と教育長をはじめ町執行部、議会代表2名が同行し参加してまいりました。参加児童からは、在アルゼンチン日本大使館や4つの小学校を訪問することができ、またホームステイ先のホストファミリーとの交流がとても楽しく有意義であったと聞いております。

最後に、ご協力をいただいた皆様に感謝と御礼を申し上げます。アルゼンチン共和国派遣事業の報告といたします。



アルゼンチンオリンピック委員会



スポーツ庁へ親書を渡す

### ◎広報編集委員会

委員長	岩崎 博
副委員長	飯田 進
委員	須藤 信吉
委員	相良 昌宏
委員	鈴木 英明